

# アスベスト試料採取方法のご案内

## 採取手順

### ①保護具の点検・着用

サンプリングを行う際は必ず基準に適合した呼吸用保護具を着用する。

### ②採取箇所の湿潤化・養生

飛散防止のため水(又は飛散抑制剤)を入れた霧吹きで濡らしたり、養生を行う。

### ③同一の建材から採取

有資格者の指示に従って同一建材の範囲内で3箇所以上採取する。

※スクレーバーやハンマーなど建材の種類ごとに適した道具を使用し、他の建材が混ざらないよう注意してください。

※特徴の異なる試料は混合できません。



## 試料採取量の目安

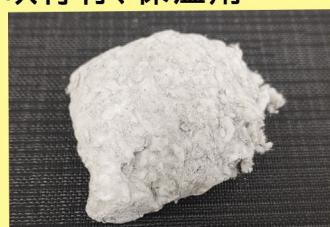
### 外壁、仕上塗材



#### 1か所1cm<sup>2</sup>以上で3箇所採取

層別分析の場合、各層ができる限り同量になるように採取してください。  
また、粉状の試料や剥離剤を使用した場合は層別分析が困難になる可能性があります。

### 吹付材、保温剤



#### 1か所10cm<sup>2</sup>以上で3箇所採取

密度が低い場合は多めに採取してください。

### 成形板



#### 1か所1cm<sup>2</sup>以上で3箇所採取

石膏ボードは裏面の紙まで採取してください。  
また、木質吸音板などは多めに採取してください。

### シート・タイル類



#### 1か所1cm<sup>2</sup>以上で3箇所採取

Pタイル、巾木等は接着剤がしっかりと残るよう採取してください。

※試料量が少ない際や明らかに建材の種類が異なる際は再採取を依頼する場合がございます。

## 試料の梱包方法

試料は透明なチャック付きポリ袋に2重にして密閉してください。  
袋の表面に試料種類、採取場所や日時の記載し、分析依頼書を同梱して発送(又は持ち込み)してください。

同一建材から複数箇所採取した試料はそれぞれの箇所ごとに袋に入れ、同一試料と分かるように1つの袋にまとめて入れてください。

※発送には追跡が可能な郵送方法(レターパックなど)を推奨

